

東京都知事選挙 各候補者 政策比較一覧表

山本 太郎

小池 百合子

宇都宮 健児

小野 泰輔

基本的な考え方

課題を解決するための重要政策

あなたにとって理想の東京都とは

現在の東京都政に点数をつけるなら

100点にするために何をするか

第1 優先政策

政策手段

第2 優先政策

政策手段

第3 優先政策

政策手段

期日までに回答なし。

都市の活力の源泉は「人」です。子供が社会で大切にされ、笑顔で伸びる・育つ。長寿の方々が経験を活かし、いきいきと活躍する。女性、障がい者、外国人を問わず、一人ひとりが自らの意思で未来を切り拓く。こんな「人が輝く」東京を、都民の皆様と共に創り上げてまいります。

今の東京都政に対する評価については、知事としてこれまで取り組んできた4年間に対する評価と同義と考えております。その評価は都民の皆様にお決めいただくものと考えております。

新型コロナ対策、超高齢社会やデジタル化への対応など、都政を巡る状況は刻一刻と変化しています。益々複雑化する課題に向き合い、バージョンアップした「東京大改革2.0」を進め、「都民ファースト」の都政を確立してまいります。

いずれの政策分野も東京の未来と都民生活に大きく影響を及ぼすものであり、順位付けは困難です。直面する課題全てに全力で立ち向かってまいります。

4年間で、聖域なき事業見直しにより3,500億円の新規財源を確保し、都債の残高は6,000億円減少しました。あわせて約1兆円を産み出しており、これが機動的なコロナ対策につながったと考えております。引き続き「賢い支出」を徹底した戦略的な財政運営を行い、都政の直面する課題に全力で取り組んでまいります。

第2 優先政策以下、上記の理由により無し。

上記の通り、いずれの政策分野も東京の未来と都民生活に大きく影響を及ぼすものであり、順位付けは困難です。直面する課題全てに全力で立ち向かってまいります。

人々が明日の生活に希望を持ち暮らしていることが一番大切です。そのために、コロナ災害が発生している今も、命と健康が守られる医療が確立し、経済的な苦境にある中小企業の事業者や非正規、フリーランス、学生など安定した収入のない人々が生活に困ることなく、安心して過ごすことのできる街であってほしいと思います。

今の都政は30点くらいです。小池さんは四年前の公約のほとんどを守りませんでした。コロナ禍の下でも医療が崩壊し、救える命が救えない。そして国民や都民の雇用も守ることができていません。人々の住まいを守ること、営業を守ることができない。命と暮らしをおびやかすそういう社会になってしまっています。

この社会を経済効率性ばかりを優先する社会から、1400万人の命と暮らし、人々の人権が優先される社会、自己責任よりも、社会的な連帯、社会的な共同、社会的な支え合い、それが優先される社会に変えていく必要があります。そういう都政を都民の参加を得て、一緒につくりたいと考えています。

コロナ禍における都民、事業者に対する経済的な補償

期限：直ちに組み込む
数値目標：事業者の損失に応じた補償
予算：約3兆円

外環道など大規模な公共事業を延期・中止し、1兆円以上の財源を作る。条例を改正し、財政調整基金だけでなく、特定目的基金などを合わせ約一兆円の基金を作る。国に対して医療機関の財政支援などの財政支出の強化を提言する。コロナ対策に地方債を利用することには総務省の同意が得られず困難ですが、公共施設の建て替えのために地方債を利用し、支出予定だった自前の予算をコロナ対策に置き換えて活用することは可能です。

コロナ感染症に対する医療の強化

期限：直ちに組み込む
数値目標：保健所は倍増する
予算：第1課題の三兆円に含む

新型コロナウイルスの感染から都民の命を守るために、医療崩壊と安全に経済活動を継続するためにも、PCR・抗原・抗体検査体制を抜本的に強化する。医療機関に対する財政支援、医療設備の万全を期すとともに、小池都政の下で71から31に減らされてきた保健所を倍増する。コロナ指定病床の七割を担っている都立公社病院の独立行政法人化を中止する。

カジノ誘致の中止

期限：適切な時期に表明
数値目標：特になし
予算：調査費用程度

東京都は現在、カジノを調査する予算を組み調査検討をすすめているが、小池知事は、誘致をするのか明言していない。江東区の青海地区が有力な候補地となっている。カジノは、多重債務問題を再燃させ、ギャンブル依存症の拡大も危惧される。カジノは人の不幸の上に立つ商売であり、これを誘致することは認められない。

強く、しなやかな東京、大切なことを一人ひとりが考える政治プロセスが備わっている東京を目指します。東京の人口流入、産業集積、都市間競争、少子高齢化、子育てなどの課題踏まえて、都市の構造のグランドデザインを示します。中心部から郊外部への分散化とコンパクトなまちづくりを行い、職住近接を実現させます。

25点以下。
現職の評価は業績が全てです。東京都の業績評価である「2020年に向けた実行プラン」事業実施状況レビュー結果によりますと、644項目のうち、2019年度末の「達成見込み」をあわせても、157項目しか達成しておらず、157/644より、達成率は24%であるためです。

科学的な根拠に基づき、特定業種に絞った規制と従業員を中心とした補償を実施し、経済活動や学業と新型コロナウイルス対策を両立させます。東京が持つヒト・情報・資金をセットにして地方への循環を促し、地方創生を促進します。多極分散社会を実現し、日本全体に活力をめぐらせることで、東京都の持続可能性を同時に高めます。

産業政策

期限：未回答
数値目標：未回答
予算：未回答

ウィズ・コロナ、ポストコロナの成長戦略が必要と考えます。具体的には、「夜の街」の風評被害を払拭したうでのナイトタイムエコノミーの推進、公営事業の一部民営化、特に都営交通の東京メトロとの一元化、金融・ICT・AI等の最先端を走る企業の立地を促進するビジネスコアの形成などを実施します。

安全・防災・震災復興

期限：未回答
数値目標：未回答
予算：未回答

第二波、第三波の感染拡大に備えて都内に新型コロナICUセンターを整備します。また、抗原検査等、迅速に感染を調べられる方法の普及に取り組めます。そのうえで、抗体検査を大規模に行い、大学、研究機関等と連携し、新たな感染症発症動向指標の開発を行うことで、科学的な感染拡大対策を実施するようにします。

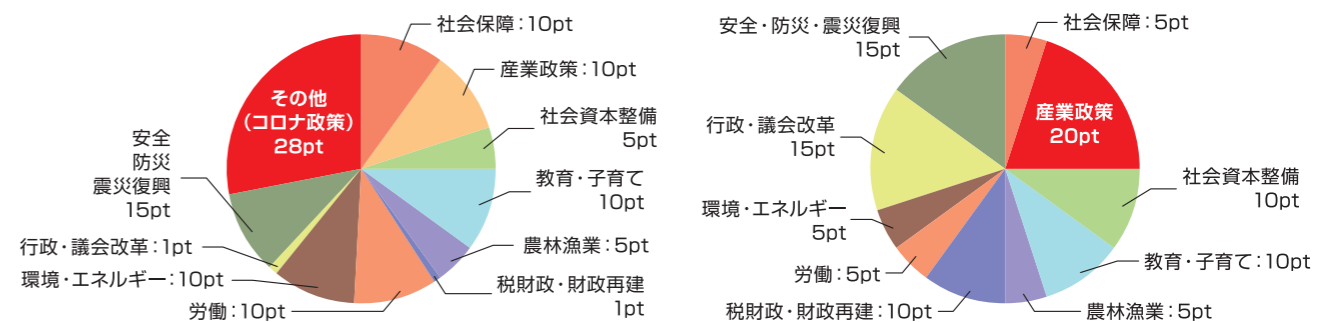
行政・議会改革

期限：未回答
数値目標：未回答
予算：未回答

財政調整基金の95%が消失し、法人税の減税が予想される状況に対応するため、小池都政初期にも行われた事業見直しにあらためて着手します。また外郭団体の整理を行い、天下り先の仕組みを一掃します。また、知事報酬・期末手当の50%カットだけでなく、退職金のカットにも着手し、真の「身を切る改革」を実行します。

政策分野注力度

予算を100pt持っているとしたときの各分野への配分



※本比較表は、今回登壇される候補者へ質問票を送付し、2020年6月26日までに回答が得られたものをもとに作成しております。

東京都知事選挙 各候補者 政策比較一覧表

基本的な考え方

課題を解決するための重要政策

	服部 修	立花 孝志	斉藤 健一郎
あなたにとって理想の東京都とは	安心、安全、そして楽しい街。	みんなの自由が守られる東京都です。例えばNHKの受信料については税金ではないので、NHKを見ない人はお金を払わなくていい。年金だってそう。将来、自分が年金もらえないだけですね。コロナもそうです。別にコロナに外に出て、感染するのは本人。多数派によって少数派の意見が潰されないような東京都にしていきたいと思います。	不幸の連鎖をたちきり、優しさと笑顔溢れる東京。綺麗事と捉えられるかもしれないが、都民のための政策が行われた場合、最終的に行き着くのはここだから。
現在の東京都政に点数をつけるなら	100点。 それなりにやれる事は精一杯されていると思います。	14点。小池さんは「東京大改革宣言」と銘打って、「七つの0（ゼロ）」を公約にしたが、そのうち「ペット殺処分ゼロ」の一つしか実現していない。満員電車ゼロというのはさほど時間がかかるものでもないと思いますし、テレワークも都知事が率先してすべきだった。それを踏まえると、100点中、7分の1の14点くらい。	回答不能。 理由は東京都政がどのように運営されているか、わからないから。外から文句を言うことは簡単だが、現在の都政の問題箇所を私の問題として把握することは現状できない。そのため、評価することができない。
100点にするために何をするか	自分が取り組むにあたって「やれる事」を「精一杯」やるだけです。	愚問です。100点を目指すから、全員を管理しようとするわけで。質問者が完全に教育に洗脳されている。100点取らなきゃいけないなんていう思い込みがこういう質問になる。僕は最初から100点にするつもりはありません。100点を目指すから、少数派を多数派に引きずり込もうとする同調圧力がかかるわけですから。	そもそも悩みや問題点を表に晒すことができている状況なのか判断できないので評価そのものができない。小池都知事が「7つのゼロ」を実現しなかった理由が必ずあるはず。この問題を共有し、さらけ出すことが解決を導くことにつながると考える。このスキームを実現する。
第1優先政策	音楽、芸術、スポーツ、祭り、花火大会など文化活動の正常化 <small>期限：すぐに 数値目標：自粛ゼロ 予算：未回答</small>	社会保障、産業政策、労働 <small>期限：未回答 数値目標：未回答 予算：未回答</small>	社会保障 <small>期限：無責任なことは言えない 数値目標：専門家の意見を聞く 予算：専門家の意見を聞く</small>
政策手段	感染対策を工夫する。	コロナ自粛で廃業の危機にある事業者を経済的に支援する。地方財政法第五条に基づき、都債を発行し、個人、事業者にも柔軟に対応する。不足分については、国にしっかりと要求する。貯金がなくなったからといってお金を使わないという考え方では地方自治体の運営はできない。都債の発行額は税率を調整しながらバランスを取る。	社会保障は、東京のみならずこの国の根幹問題として、非常に根深い。日本の年金問題については、積極的に研究している有識者の方がいるので、その方々の意見をきちんと聞き入れ判断したい。それを都民の皆様に提案した時の反応如何では私自身がきちんと責任を取る。
第2優先政策	経済活動の正常化 <small>期限：すぐに 数値目標：自粛ゼロ 予算：未回答</small>	社会資本整備、税財政・財政再建 <small>期限：未回答 数値目標：未回答 予算：未回答</small>	産業政策 <small>期限：専門家の意見を聞く 数値目標：専門家の意見を聞く 予算：専門家の意見を聞く</small>
政策手段	過度な自粛ではなく、経済活動とのバランスを保ちながら正常化させていく。居酒屋など、今回特に損失の大きいであろう夜の町を中心に。アルコール飲料の消費量も回復させる。	東京オリンピックを2年後に延期する。東京を2年後にし、2年後の冬季の北京を4年後にする等。但し、東京都は開催や延期の判断は行わず、IOCや国に任せる。都としては開催を熱望まではしない。当然、追加負担についても開催や延期を決定したIOCと国にしてもらう。あるいは、放映権等でしこたま儲ける電通等が負担すればよい。	宇宙産業。日本の地政学的優位性を活かし、東京のみならず日本を盛り上げることができるのは宇宙産業であると考えられる。日本はライブドア時代の堀江の宇宙開発に蓋をした経験があります。GAFA台頭時代の今、日本がもう一度強く立ち上がるチャンスが、宇宙開発だと考える。
第3優先政策		教育・子育てを含む全分野 <small>期限：未回答 数値目標：未回答 予算：未回答</small>	労働 <small>期限：専門家の意見を聞く 数値目標：専門家の意見を聞く 予算：専門家の意見を聞く</small>
政策手段		堀江貴文「東京改造計画」の東京都への緊急提言37項を実現する。特に、渋滞ゼロ、満員電車からの解放、オンライン授業推進、健康寿命世界一、ネット選挙の導入、都職員の9割テレワーク化、限りなく生活コストを下げる、遊び場を増やす、人生100年時代のコミュニティ、都民限定の無料オンラインサロン等に取り組む。	働かざる者食うべからずは死語になりつつあると思う。お金の生み出し方は、仕事の対価として得ているが、仕事が必要だった時代から、興味関心がお金を生む時代に変化する。この仕組みが労働と言えるのか？労働の定義を改めるタイミングにきた。日本人は遊び慣れていないので、その為に助成金などを作る必要性はある。

公益社団法人 東京青年会議所
が独自に各候補者へ政策についての質問をしました。

いただいた回答を一覧にまとめましたので、各候補者の政策や考え方の違いをご覧いただき、投票の際の検討の一助としてご活用ください。



ニコニコ生放送
6月28日
21:00~

政策分野注力度
予算を100pt持っているとしたときの各分野への配分

都民から必要とされている分野を詳細に把握してから検討します。

合理的な少数派を守るための政策に100ポイント。敢えて予算を100ポイント持っているとしたら、その他のNHK問題に100ポイント全部投入するという答えになるのかな。でも、もちろんNHKのこと以外も、特にコロナ対策。コロナによって被害を受けた、保障しなければならない飲食店やイベント業者、娯楽産業に携わっている方々をまず保証していくということが今の時代、コロナ禍におけるいちばんの政策というか、それをまずしなきゃいけないと思います。



すべて 10pt
前述の通り、正しく情報開示されていない状況で、現行都政を正しく評価する材料がない為、一旦フラットにして考えたい。そのためにも、一旦は均等に政策注力する。

※本比較表は、今回登壇される候補者へ質問票を送付し、2020年6月26日までに回答が得られたものをもとに作成しております。